

(採択理由)

この取組は熊本大学総合情報基盤センターにより、既に7年間にわたって組織的に展開されており、着実な成果を上げています。情報分野における基礎的な知識と技能は、現代社会における「基本ライセンス」であるとの認識に立ち、1年次の全学生1,800名に対して十分な実習環境を提供するとともに、周到に計画された情報リテラシー教育を実践しています。センターが開発したオンライン学習システムを利用して、学生たちは学習達成度を自己確認し、かつ満足のいくレベルまで高めています。専門教科集団は、講義テキストと電子教材の作成と更新、教育内容の検討、評価基準の統一などに取組んでおり、全体として整合性が取れています。情報教育に限定されない普遍的な教育内容として、他の大学、短大の参考になり得る優れた取組であるといえます。

今後、倫理的判断力やセキュリティ意識といった人間形成面に係る教育内容への充実を図り、また中等教育との連携を強めることにより、更なる発展が期待できます。

『平成16年度「特色ある大学教育支援プログラム」採択取組の概要および採択理由』より



<http://www.gp.kumamoto-u.ac.jp/>



熊本大学総合情報基盤センター
〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39-1
TEL: 096 (342) 3824 FAX: 096 (342) 3829
<http://www.cc.kumamoto-u.ac.jp/>
E-mail: www-admin@cc.kumamoto-u.ac.jp
平成16年11月

Copyright (C) 2004 Center for Multimedia and Information Technologies, Kumamoto University

特色ある大学教育支援プログラム (平成16年度)

学習と社会に扉を開く 全学共通情報基礎教育

<http://www.gp.kumamoto-u.ac.jp/>

ネットワーク社会において自由闊達に活躍するためには、情報基礎分野における基礎的な知識と技能が不可欠であり、これらは現代社会における「基本ライセンス」とも言える。

このライセンスを取得するためには、基本的な利用技術に加え、ネットワークを利用する上で不可欠な法的規制、セキュリティに関して総合的に学習する必要がある。

本取組では、全学的な支援のもと、全学必修科目として情報リテラシー教育に取組み、高等教育機関として十分に高い教育水準に受講者が到達できるための組織的教育実践を行うことで、この「基本ライセンスの取得」を実践している。

KUMAMOTO UNIVERSITY

熊本大学総合情報基盤センター